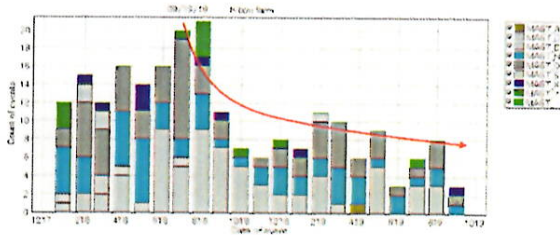


K農場 新牛舎と乳房炎発生

佐竹

昨年の夏から新牛舎が稼働し始めたK農場。旧牛舎時代の悩みの一つが「乳房炎」でした。下のグラフは新牛舎への移行前後の乳房炎発生を示しています。



新牛舎への移行後、毎月の新規発生は半分以下となり、毎年夏に増加する乳房炎発生が今年は大きな発生もなく経過しています。

乳房炎は様々な要因が絡み合って発生する疾病です。K農場での乳房炎発生の減少に大きな影響をおよぼしている要因を何回かに分けて紹介します。

換気と安楽性

牛舎内は通常、外よりも湿度が高くなります。これは牛舎内の糞尿・水槽・餌・牛の呼吸などからの水分が発生するからで、換気が不十分な農場では外気よりも牛舎内の湿度は20~40%も高くなります。

乳房炎原因菌は湿った環境を好みます。牛舎内の作業通路や乳房が付着するベッド後部が乾いているか湿っているかが、十分な換気がおこなえているかの判断のポイントです。

また牛は湿度や暑さを感じるとベッドで休息する時間が短くなります。湿度や暑さにより牛の呼吸を多く速くなり、休息することで腹腔内の内臓が横隔膜を圧迫するために呼吸がしにくく

なるため、同時に呼吸の増加による体力の消耗はわれわれの思っている以上です。

また休息時間の乱れは牛の一日の行動を変化させてしまいます。採食行動の変化によるルーメン環境の悪化や起立時間の延長による体力の消耗などは、直接的に免疫の低下をひきおこすでしょう。

K農場は換気とベッドの安楽性に重点を置いた牛舎デザインです。



フリーストールのトンネル換気

換気効率を上げるため屋根を極力低くし、天井は断熱されている



牛舎内にも新鮮な空気を順送りする大型ファンをいくつも設置し、休息している牛に直接風を当てることで暑熱対策にもなる。牛の休息行動を阻害しない安楽性の高いストールとベッド

今年の夏、最も暑かったあの日、牛舎内の湿度は外気とほぼ変わらない状態（5%以内）を維持していました。

次号つづく